

経済ポケット ジャーナル

★神戸経済の飛躍にむけて「神戸経済会議」開かれる
ポスト・ポートピアの神戸経済を考える「神戸経済会議」の第一回が、昨年12月8日、神戸国際会議場で開かれた。この会議は、学



ポスト・ポートピアの神戸経済を探る

識経験者、産業界、労働界などからの54名の委員によって構成され、コンベンション都市へのアブローチ、観光群問題、中高年問題、新産業の展開などが審議される。総合企画 観光国際化工業、流通ファッションの四部会を設け、58年3月に答申を発表する計画で会議はすすめられる。第一回



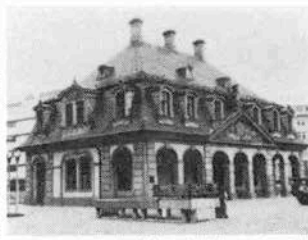
総会のこの日は、会長に石野信一氏（太陽神戸銀行会長）、副会長に鬼塚喜八郎氏（アシックス社長）を選んだ後、神戸経済の現状報告と、牧冬彦氏（神戸製鋼所副社長）、柏井健一氏（柏井紙業副社長）、木口衛氏（丸ワールド会長）、ら各委員による意見交換が行なわれた。

★ユーハイムが「故郷」で合併会社設立

関ユーハイム（河本春男社長）では、西独フランクフルトのカフェ・ラオマーの経営者ミハエル・リンバツハ氏との合併による南ユーハイム・リンバツハ社を設立し、4月にフランクフルト市内に直営のカフェテラスをオープン、58年9月操業を目指して生産工場の建設を予定している。日本の洋菓子界では西独に初めての海外生産工場をもつことになり、完成後は、既に出店しているゲーテハウス店などユーハイム3店舗とカ

フェ・ラオマー3店舗に商品供給する計画。

4月に新規出店するカフェ・テラス「ユーハイム」の建物、ハオプト・バツヘは、1700年代に衛兵所



フランクフルト市内ハオプト・バツヘ店

として使われていたもので日本人観光客もよく訪れる市内の三大観光名所のひとつ。洋菓子販売と喫茶を営業し、客席数550席という大規模なもの。初年度年商1億6500万円を見込んでいる。

★KOBEOフィスレディ



福島みどりさん(20)
△神楽石野証券・受付▽

証券の窓口は生きた経済の變動に湧く男の世界。だが雄略の中の花一輪……というだけでは現代女性としての強さに欠ける。今の職場を選んだのは高校の商業科で字んだことを生かすため」とし、かりした意見の人だ。好きなのは映画。友達と一緒にワイワイ言いつつ観賞、最近良かったのは魔界転生。編物、お茶などお稽古事に多忙な毎日だ。



南泰吉社長

にふさわしく海外不動産の紹介に力を入れているが、この程国際的な不動産投資会社、ブッシュ・ワールドワイド・カンパニーと提携、カナダ・トロントで進行中のコンコルド・プレスという1千億円のプロジェクトに参加することが決まった。トロント市の中心部13万3千平米にオフィス群と高層マンションを建設する雄大な計画。同社では投資家のために海外不動産セミナーを開催している。

★カナダのビッグプロジェクトに神戸の企業が参加
ポートピア81へのパビリオン出展で話題を呼んだ南インターナショナル（南泰吉社長）では、国際化時代に

COFFEE BREAK

★本場の酒の味を

消費者に



正治 嘉納

にも持って「自話す。「自動車や家電

「われわれの努力も足らなかったが、これからは積極的に本場の日本酒の味をビールにしたい」といけな

★ファッショ街区に海外

の超優良企業誘致を

神戸経済の未来像を考へる「神戸経済会議」の第一回総会が、昨年12月8日、ポートアイランドの国際会議場で開かれたが、その席上で、委員のひとり、木口



ポートアイランドに建設予定のファッショ街区に

街に成長したアパレル業界は、私でも「クビ」になるくらいに若い世代がやっており、ファッショ街区への進出は大変な決意と理想です。その若い力に応援していただきたい」と神戸の財界、行政に要望し、加えて「神戸がファッショ産業都市となるために、海外の超優良企業を誘致したい」とファッショ街区完成への提案を語った。

★小西保文さんが東京へ神戸二紀の小西保文さんが、2月から東京の郊外に引越される。

奈良県吉野で生まれ、神戸に住んで30年余りになる小西さんは、「神戸に青春の思い出を埋めました。きさないい方だけ神戸は心のふるさとです。中西勝先



生、鴨居玲

保文先生、西村功先生など先輩に恵まれた。でも、今動けなかったら一生動けないだろうと思

一つの旅に出る気持で頑張ります。今まで空気のように感じていた神戸の街だけでなく、いざ去るとなると大変さびしいものです」と語る。惜しむ声も多いが、新天地での活躍を応援したい。

新住所／〒572 玉野新築市池田5-13-7 電話0484-178124

★第一勧銀VS電通の

LP「髪」

東京電通のビデオ・ディスク部で活躍中の新井満さんが、この二月に、第一勧銀の銀行マンでシンガソングライターの小椋佳作詞による「髪」を作曲し唄ったLPが、コロムビアレコードより発売される。



満 新井

昨年暮れの神戸ネオトロピカル協会のXマスパティで初めて「髪」を紹介したが、しっとりとい曲だ。新井満さんは「サラリーマン・シンガソングライター同士の出会い

を、ぼくの上京を待って

企画した仕掛人がいるんです。今まで、なかなか決まる作曲がなくて、ぼくのはすぐOKが出て吹き込みました。まあお互いに新しい血を吸入しあった感じですね。ぜひ聴いて下さい」

★村上和子の初体験

というのは、3月25日に保育社のカラーブックスで村上和子さんが「神戸味どころ」を処女出版する話。

サンTVのディレクターながらその美貌と行動であちこちから、ひっぱりだこの彼女だ。今度はその文才が買われて、念願だった出版のチャンスとなった。



和子 題名のと

村上のうまいもの店が連なるが、単なる料理紹介でなく、オーナーや料理人、その店に集う人など料理の付加価値も記され、村上さん自身の交友関係も自ずと表われる。「自分が興味を持つ「食べること」がテーマで本が書けて幸せ。本当は教えない穴場も書いてくれど、神戸って老舗だからというだけではダメメネ新しくて味や値段や雰囲気や人が良ければ皆飛びつく街やわ」

《東ニ文化人》

田辺 聖子〈作家〉

カモカのおつちゃん・太刀持ち たかはしもうさん・露払い付き

酒とサカナと唄とおつちゃんと

お聖さん「お酒を飲み始めたのは、同人雑誌をやっていた、その頃からですね。同人雑誌に酒はつきものやから……でも、ほんとうに本格的に飲み出したんは、おつちゃんの晩酌につき合っていてからね。

子供の頃も、わが家はお酒飲みでね。おじいちゃんも

お父ちゃんも晩酌していたわね」

カモカ「それでもね、仕事終えて夕方から飲む、朝からやないんよ。それがええんよ」

お聖さん「日が暮れんと飲んだらアカンネン」

孟さん「お聖さんのお酒は、おつちゃんが開発してん」

カモカ「そうそう、ちよっとこの位の短かい、ちよろっとしたヒモやっただんだん長くなってきた。(笑)」

ついには、こちより太うて長ーうなってきた」

孟さん「そいでローブになったんや」(笑)

お聖さん「おつちゃん、もう今夜はこれでエエのん(笑)」

カモカ「そう逆転して、ローブが横綱になってしまいいよった」(大爆笑)

お聖さん「荒田の湊川診療所の頃よね。カモカのおつちゃんをマカンブッサルが招待してくれたでしょ。あの頃がピークや」

カモカ「あの頃、二人だけでもビール一本を食前酒に飲む訳や。酒を二人で五合か六合か飲んで、それが終わった

らウイスキーのボトルが半分なくなってたね。

その頃が、8時か、そう9時かなあ。テレビでまたま歌謡ショーがあるでしょ。調子のつたら、こちもついでに二人で歌謡ショーや。(笑)それに孟さんが来て加わって「しゃねる」へでかけて夜通しやから」

孟さん「そう、何ほ飲んだかわからへん」

お聖さん「「しゃねる」のママも元氣一杯やったしね」

カモカ「あないにコケヘンかったもんな。「しゃねる」

へ行ったらまず12時までに帰ったことがない。(笑)ホッと気がついたら朝になって、空が白々と明けてくる」

孟さん「おつちゃんとお聖さんの唄も、皆が唄っていたから自然に開発されてしまったもんね」

カモカ「そうそう読売の今ちゃんなんか、ぼくらが行くとスーッと帰ってしまうねん。(笑)」

お聖さん「神戸に來た作家の連中も「しゃねる」へ行くと必ず唄って帰るのよね。井上ひさし夫妻とか、野坂昭如、佐藤愛子さんとかね。彼女が唄うときは必ず怒りながらよ(笑)。「ここはお国の何百里」をね。」

孟さん「河上民雄も唄うたからね。校歌やったね。おつちゃんとお聖ちゃんのデュエット、瀬戸の花嫁はバツグンやからね。あれに皆あてられて、お聖さんところへ來た東京の女性編集者は皆結婚したがってねえ。それとね、

お聖さんはお酒のサカナや料理つくるのが手早うて上手なんよ。作家にしとくのはもったいないぐらいや(笑)」
お聖さん「いやー懐しいね。あの台所と座敷」
カモカ「今、思うたら穴倉やで(笑)」

お聖さん「皆、帰るとき失礼しますいうて、お風呂場の戸を開けるネン(笑)そこちやいます、ちやいます(笑)」
孟さん「面半分」で(聖)と(愛)特集をやつて八田辺聖子と佐藤愛子の意、あれは秀逸やつた。ぼくも『海軍めしたき物語』書くきっかけは、お聖さんに「面半分」に書けといわれてからやもんね」

お聖さん「私がまだ四十二、三才の頃。一番家の中がやや

こしい頃一番元気やつたもんね。それから二人共病氣をして五十一年に伊丹へ来てからはやや静かになったね。」
カモカ「昔はヨメはんの仕事相手に、何でつき合わなんねんという感じやつた。私には私のつき合いがあるんじゃない。それが皆とつき合い出したら入り浸りや(爆笑)」
孟さん「まあお二人は、お互いに開発のしあいやね」
お聖さん「今でも、ゆっくり、ゆっくり飲んだら3本は飲むやろうね。そろそろ神戸あたりへ家を建てたいけれどね。スペイン風のペンションみたいな家にして、ゲストルームを最低二部屋作つて、男の子と女の子と別れて泊つてもらうて、朝まで飲むことにするワ。(笑)」



カモカのおっちゃん、太刀持ち、もうさんの露払いを従え堂々の横綱お聖さん

《西―経済人》

田崎 俊作（田崎真珠株式会社代表取締役社長）

田崎一刀流の極意教えます

仕事をサカナに今夜も…

今年は正横綱か。横綱になると負けるに負けられないし、後は引退あるのみで辛いね。本当は小結あたりでのもんぱりと目立たない所で飲んでいたいが無理やるね。55歳までまだ2、3年あるから頑張る、あとは田崎部屋でも作ってやるか。（笑）

この一年は何といつてもポートピアが大きかったな。真珠業界としては、地場産業としてのPRができたのが収穫だった。パールシティ神戸のキャンペーンを進める若手の台頭もあり、東京の人も今年は神戸はよくやったと評価している。一社の利益が伸びたということとはあまりないが、業界全体として実りのある年だった。

そこで、神戸としてはポスト・ポートピアをどうするか試金石だが、目玉のファッション街区づくりが今ひとつ軌道にのりきらず、歯が抜けるように脱退組もでているのは残念だ。前から言っているように単なる工業団地にしてしまわず、みんなが散策して楽しめるファッショントウンにしていきたい。難航しているが、それに気落ちしては駄目で、少数精鋭でもファッション都市神戸の目玉になるようなものを考えていこう。神戸ファッション都市ここにありと言えるものを作りあげる。これは市民の我々が責任をもってやるべきことだ。

僕はね、酒の飲み方というのが親仕込みでね。仕事の

話がサカナなんだ。部下や得意先と仕事の話をガンガンやりながら気持を通じ合わせる。酒が入ると後で「しまった。あれは少し言いすぎたな」と反省することもあるが、うまくいけば相手の気持をひきだし、こちらの本音も言える。よく飲む時ぐらいいは仕事のことを忘れて……というが、僕の場合はそんな甘ったるいもんやないな。

飲んだら仕事、8割までそうだ。あとは女性。（笑）これが人生の楽しみやないかな。仕事と女、これが人生そのもので、他にはあんまりない。社内でも、社長は酔っていてくれた方が商売しやすいというのと、あんまり酔っぱらうなというのと2つの説があるけど、大体まあ酔っていた方が良いようなね。（笑）ゆっくり酒を嗜むという心境にはまだ至っていない。

つい最近もアメリカに20日ばかり商売で行ってきて12月8日に帰ってきた。あっちでは昼めしでも酒が付きもので、ホテルのボーイが「飲み物は」と来る。僕は郷に入れば郷に従えて、バーボンでも何でも飲んできたが、酒飲みは時と場所を選ばんもんだ。

真珠屋というのは特にね、いかだの上の茶わん酒からシャンデリアの下のカクテルまでこなせなくてはダメなんだ。真珠の養殖やつる漁師と一緒に酒を飲んで魚の乾したのにハエがたかっているのを平然とつまむ。その



酒が入ると生来の熱井にも一層磨きがかかる（神戸時代にて）。

一方では、バイヤーとシャンデリアの下のカクテルを付き合えなくてはいけない。これは真珠屋の心得だよ。往々にして片方しかできない人がいるが、それだけの広がりがあるのが真珠屋の人生であり飲み方だ。まあ楽しいもんですよ。

僕は九州の生まれで元々は芋焼酎で鍛えたが、今はブランドーが一番好きだ。ブランドーは僕の血みたいなのが、今です。今はアメリカンというのが流行っているが、僕は20年前から水で割って飲んでいる。まあ先駆者や。今度アメリカへ行ったついでに真珠湾に寄って一杯やってきました。ハワイへは何度も行っているが、真珠湾

へは初めてで往時を偲んできた。そう言えばパールハーバー……、何かの因縁かな。

海軍の頃、いやいやほとんど飲む機会はなかったよ。海軍というのは昔から伝統があつて、酒を飲むなら一流の料亭で、ウイスキーならスコッチとブライドを持っていったんだが、僕が行ったのはもう物資のない時代で酒の思い出はあまりないな。

酒飲みの弁としては、こんなところかな。とにかく酒と仕事は人生そのものだ。これが田崎一刀流の極意（笑）だ。話はもうこんな所でもいいだろう。（と念をおして晴れやかな声で）ママ、今日は着物がお似合いですね。

《東Ⅱ文化人》

鴨居 玲〈画家〉

酒そのものより友人との会話が着

豪快、かつ優雅な酒。

――横綱の武勇伝などあれば伺いたいのですが。

「昔の飲み方は此の頃とちがつて滅苦茶でしたから、やっと生き残ったという感じですね。殆んど失敗談ばかりです。ブラジルにいた頃、画家の若林和男君達と、ボリビア、ペルーに旅行しました時、村と村の戦争に巻き込まれましたね、『これ以上は責任を持てぬ』という軍隊の忠告を無視して、アンドン山脈は夜気温が下がるので戦争を中止するから夜中に出発しようということになって、鉄砲の音を聞きながら、車中でウイスキーの廻し飲み、西部劇の主人公にでもなったような気分です。すっかり酔いましてね、車ごとヴァリケードに突き込んで捕まりました。銃を突きつけられましたが、何故か可笑しくって、笑いを押えるのに必死でしたよ（笑）」

――お酒を飲み始めたのは、いつ頃からでしょうか。

「吾れ死なば 酒屋の壺の下に埋めよ もしや滴のたれもせぬかと 悠々居」私の父の作った戯れ歌です。ですから子供の時から風邪をひいたといえは酒といった調子でしたね、それに、あの人の息子なら飲めるだろうと、無理に飲まされてね。風邪で思ひ出しましたが、スペインでは風邪の時は、熱い牛乳に、コニヤックと砂糖を入れて飲みます、良く効きますよ。」

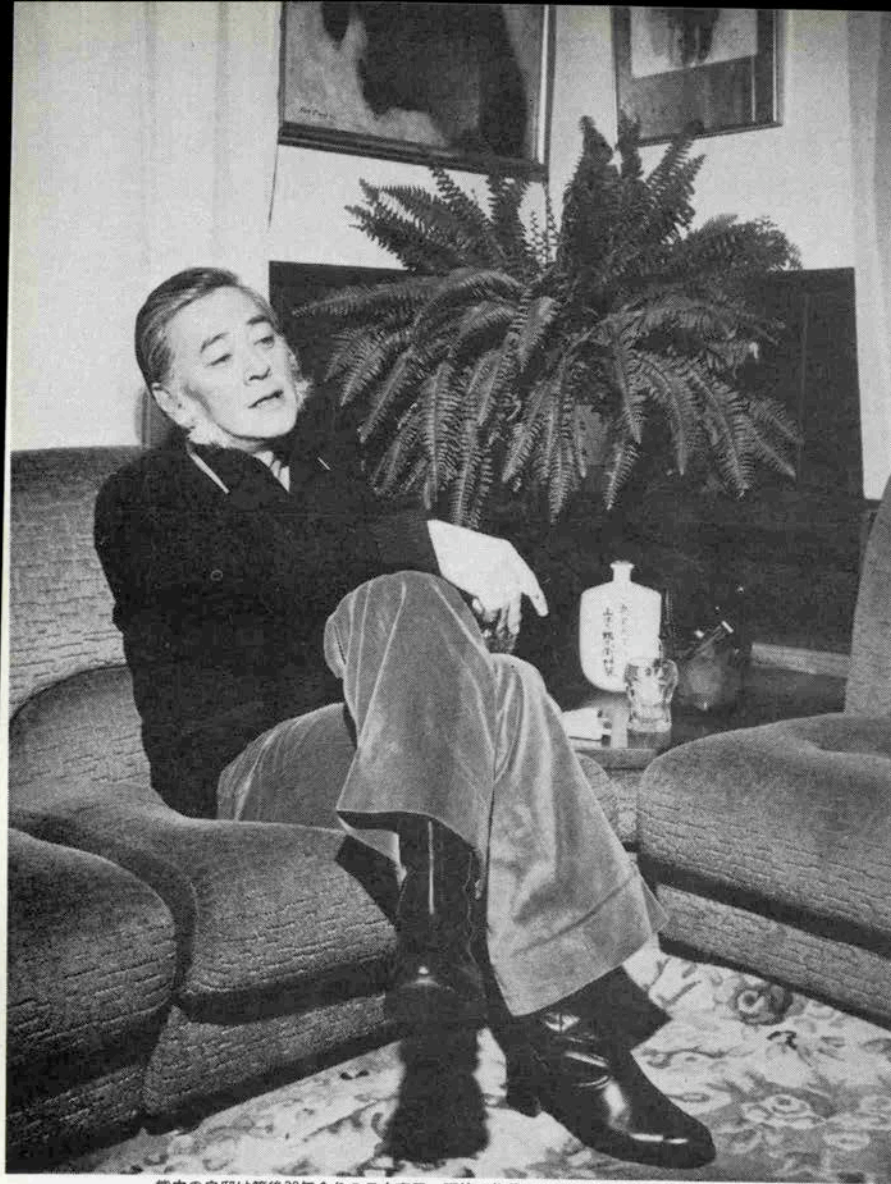
――ブラジルで飲まれた想い出も多いでしょうね。

「世界で一番の美人と、世界で一番の心優しい人達の住んで居る所ですね、ピングという強い酒を、グツと一息で、コップ二杯位飲むんです、そうすると、私はこんなに、しゃべれたのかしら、という位に言葉がペラペラ出て来ましてね、それから街に飲みに行くんです、やはり失敗ばかりでした。そうそうボリビアの首都ラパスで、画家の間部さんと二人でホテルのボーイ全部を買収したことがありますよ、一寸その理由をここで話すわけにはいきませんが……」

――最近では三宮界限の取り組み場所へは行かれませんか
「残りの時間を考えますと、やらなければならぬことが沢山ありまして、時間が足りないというのが実感です。三月に東京で個展がありますので、今年は正月もおあずけでしたよ。もう私自身のまとめ時だと思って居りますよ、それから出来れば北欧か、スペインに四、五年又行くつもりだけれど。」

この住まいに移ってからは、表札もはずし、電話も切り、一切パーティや会合に出席していませんので多勢の方に迷惑をかけて申しわけないと思っていますが、今の私には自由に使える時間だけが財産ですからね。

心の許せる友人達とだけで家で飲んで居ります。酒そのものより、会話を楽しむのがいいですね」



熊内の自邸は築後30年余りの日本家屋。画伯の作品と木調の家具と緑の植物に囲まれた住まいだ。

——お姉さまの鴨居羊子さんと杯を傾けられる機会は。「よく遊びに来ますよ。共通の友人も多いし、それにあの人は良く本を読みますし、発想も新鮮で面白いですね。私にとっては最高の友人。姉弟という意識じゃありません」

——昨年六甲全山縦走に挑戦されましたね。

「六甲山はカラッとしていて大変好きな山です。将輝君という、九才の友人が出来ましてね、よく一緒に山へ行きます。空手を習っていて大変元気な子でね、山の上で『お孫さんですか』といわれたのが、昨年最大のショックでしたよ。」

私、牛乳やチーズが好きでしてね、二日酔で頭がガンガンするっていうでしょ？ アレ全く知らないんだよね。食欲がないっていう経験も恥ずかしいけれどもありません」

——画伯の理想的な飲み方とは。

「横綱の名を恥ずかしめないように、品良く、優雅に、そして豪快に飲みたいですね、無理かな……」

□三月十三日より東京日動画廊の五十五周年記念として鴨居玲画伯の「宴」をテーマに、油絵四十点を出品した個展が開催されます。

《西Ⅱ経済人》

畑崎 廣敏（株式会社ワールド代表取締役社長）

友と気楽に飲むのが最高の酒

人生いかにうまくのかやね

酒は、なんと言ってもやっぱり楽しいときに飲むことですね。そうすると楽しさがバァッと倍増するわけですよ。

仕事の合い間にね、ちよっと飲みたいなと思うときは、期待通りに非常に仕事が行った日ですね。あるいは、もう一つは、気楽な友達と会ったとき。その二つぐらいやね、酒を飲むのは。悲しいとき、淋しいとき、あるいは腹の立ったときにはまったく飲まないですね。

飲むと何となく気持ちがリラックスするのかなあ、；、会話が楽しくなりますからねえ。

飲んでおいしいなあと思うのは運動のあとのビールが一番ですね。でも、食事をするときにちよっと飲むのにおいしいのは日本酒。ビールがうまいからと言っても、余り飲むとお腹が出そうな気がする。（笑）だから結局一番よく飲むのはウイスキー、ブランドーになる。

でも酒のない食事はまずいね。寿司を食べに行っても日本酒がうまいなあと思う。僕は日本食が多いんです。多いと言うよりも好きなんです。洋食は嫌いじゃないけれど、ちよっと好きじゃない。でも、もうわれわれぐらしいの年齢になるとおいしいものを少し食べたらいいんじゃないかな、あれやこれやじゃなくてね。お酒も料理も量でいかにおさえるかということ。そんな気持ちさま

ず先にしますね。

ポर्टアイランドのファッショントウンに新社屋を建てますが、ワールド一社のビルという気持ちではつくっていない。と言うのは、ファッショントウンという地域のことを考えてつくっているの、そういう環境に合っ、て、ややモニュメンタルな感じで、そしてシンボルのように見えるものであれば、というような気持ちでつくっているんですよ。若々しくシャープな感じで、色もシンブルで清楚な感じを出している。

ファッショントウンというのは、コミュニケーションスペースということに大事にしますから、一階の一番いいところは出来るだけたくさん木を植えて、緑の中でのカフェテラスをつくらう、最高の雰囲気をつくって市民にも開放して行こう、そこでお茶を飲むことによって何となく気持ちの安まる、また行ってみたくなるというスペースをつくって行こうと思っているんですよ。

ファッショントウンというからには、人がたくさん集まる場所でないといけないというのは事実ですが、多勢の人が集まったらそれだと言えるかというところじゃない。同じような考え方、同じような価値観をもった人が集って、そういう人たちが生活文化をつくって行く、そういう場でないといけないと思うんですよ。そ

ういう人たちが一緒になって新しい文化をつくり育てて行く。そういう感じの町でないといけないという感じがするんやね。みんなでつくり上げて行くものだけど、まず自分のところがやるべきことをやらないと難しいと思いますね。それと単なる問屋街、問屋団地のような感じになっては最悪。もっと人間中心の文化性のある情報の発信受信の起点になるようであればいいかんと思うね。

味の追求の時代には文化性の高いもの、心豊かになるものしか売れないし興味が無い。情緒の段階にまで進んでいるわけですからね。

生活そのものに心のウエイトが高くなっているだけにお酒を飲むひとときなんてのも生活の中で非常に大事な時間になっているのも事実ですね。大変重要なウエイトを占め出して来たね、確かに。何をやるにしても楽しいときはのれるわけでしょう。お酒をちよつと飲むと非常にのりやすいという潤滑油みたいなものやね。

人生やっぱりいかにうまくのって行くかですからね。そのためにもお酒は必要だということでしょうね。



神戸ネオトロピカル協会主催のパーティで。左は森美代子日本ネオトロピカル協会会長、右は藤本ハルミ神戸ネオトロピカル協会事務局長。＜神戸ポートピアホテル・コスモポリタンルームにて＞

★カモカのおっちゃんの大刀持ち
孟さんの露払いでお聖さん横綱

A 昨年を回顧すると、ポトビアで始まって終わった一年だった神戸の文化、経済全般に大きなリアクションをもたらした催しだが余波をうけて酒の飲み方や取組場所も少し変わった。

B サンパで浮かれすぎたかな。(笑)新しいホテルが随分できて、神戸っ子は新しもん好きだから人の流れがそちらへ行った。それに輪をかけてフランス戦争と言われるくらい、シャンテ・クレール、アラン・シヤペル、シェ・ラ・メールにしむらなどがたて続けにオープンしてワインにも親しんだね。

C 地酒専門店も結構人気を呼んでいる。飲み方が上手になって金のかかる所へ行かなくなったよ。パーと派手にがむしやりに飲んでいたので、小さな店をたまりに静かに楽しむようになった。

B バーボンの会、ワインの会とグループがいろいろ出来て、そこから流れていく二次会型も増えている。場所も三宮集中から少し分散して六甲とか垂水とか新しいたまり場が生まれている。

A 選考の基準はいつものとおり仕事上の業績、酒品、酒量を加味して決めている。55歳現役定年制については高齢化社会の中で、少し検討したらの声もあるが。

C 野球の原のようにフレッシュ

な新人の活躍があつてこそ土俵も盛り上がるよ。若手の登場する機会を増やすための定年制だ。今回はこのままでよいだろう。

B それでは文化人の方から選考に入ろう。鴨居玲は飲んだ時の格調といい酒量といい横綱格ですが三月の個展のためにアルクールを少し控えているようだ。

A 全集の刊行も始まり作家として油ののりきっている田辺聖子を正横綱に推したいね。マカンブツサールの女たちをモデルにした「ダンスと空想」という神戸の宣伝小説も書いてくれたし。(笑)

C 大賛成だ。ただしカモカのおっちゃんに大刀持ちを、高橋孟に露払いを頼みたいね。(笑)

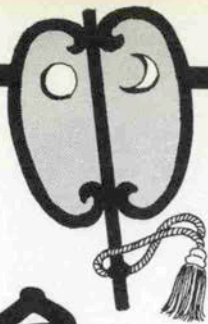
B 筒井康隆も泉鏡花賞をもらったし、神戸文化ホールでの「三月ウサギ」も成功して筒井康隆劇場が定着した。クラリネットを吹かせても上手だし、大した才人だ。

C もう少し神戸で取り組み場所をふやしてほしいね。鴨居、筒井の2人を張出横綱に入れよう。

A 重量感があるね。望月美佐は酒の上での愉快な逸話に事欠かない。ラジオ関西でビューティフルトークという番組に出てますが、なかなか好評だ。NHKの大河ドラマ「峠の群像」のタイトルも書いている。

B 今年は大関だ。張出大関には

東／経済人



＊春場所 番附 座談会

審査員



木下 健 菊水 啓輔 三輪 吉郎

〈三富商店社長〉

〈菊水総本店社長〉

〈三輪運輸工業㈱社長〉

昭和57年度

神戸酒徒選考

呼出し
月刊神戸っ子
〈小泉 康夫〉

西／文化人



佐藤 廉 伊藤 誠 加藤 隆久

(元 町 商 廊)

(神戸新聞学芸部)

(生田神社権宮司)

都市景観条例の制定など街づくり
の上で活躍する嶋田勝次。六甲で
鍛えて酒も強いし女性にも親切
だ。ポートピア記念メダル製の
にあたって神戸のイメージ作りに
貢献したのは石阪春生。

A 今年から東京へ移る小西保文
漫才ブームを支えた織田正吉。新
谷瑛紀も生活造形という分野で活
躍している。

B 新谷一家でレリフを作った
東遊園地のふれあいの滝も良かつ
た。増田正和も活躍した一人だ。
字部での野外彫刻展で大賞を獲得
した。

C 朝比奈千足は神戸市から奨励
賞をもったし期待の一人だ。ポ
ートピアでも活躍している。

B テーマ館に刻まれた多田智満
子の詩は印象的だった。「蓮喰い
びと」「魂の形について」などの
仕事も高く評価される。あまり酒
は嗜まない人らしいが、あえて三
役に入れておきたい。

★よく飲んで仕事をしたこの一年
A 前頭も多士済々だが、造形の
山口牧生をまずあげたい。

B 将棋の内藤国雄は今ひとつ目
立った動きがなかった。大きなタ
イトルをめざしてほしい人だ。

C 野口武彦はよく学生の世話を
して飲んでいる。河口龍夫はフラ
ワーロードに後藤比奈夫の句を刻
んだ虹の石をつくった。

A 演劇では夏目俊二がコメディ
・ド・フーゲツで相変わらず健闘し

ている。松本宏は今年個展をやる
ことになっているが頑張っ
てほしい。弟の松本幸三は大阪毎日ホ
ルでの独唱会が好評だった。

B 小山乃里子も人気あるね。タ
クシーの運転手に聞くと、まっ先
に名があがる。

A 榎忠がつくったポートピアの
ロブスターは文句なしに楽しかつ
たね。池上忠治は酒量に関しては
横綱クラスだ。少しもくずれない
C 県的美術館は目下休館中だが
増田洋の名をあげておきたい。博
物館制定30年記念で県から表彰を
受けている。新谷英子、堀尾貞治
も忘れられない。

B 邦舞の中では飲む量では花柳
芳恵一子。もう一度燃え立つ舞台
を見たいね。だから今回は若柳吉
金吾の若々しいダツシユぶりに点
を入れよう。

A 生活文化研究所を主宰する板
東慧も頭角をあらわしてきた。建
築界からは県南庁舎の保存のため
に力を尽くした武田則明を入れよ
うか。幕内はここまでだね。

C 十両の筆頭に小林信次郎。「一
粒の麦」の翻訳でアフリカ文学評
価の気運を起こした。輸入促進フ
ォーラムなどで国際交流のために
も活躍している。

A 華道の小原夏樹はフレッシユ
ライフ'81に作品を展示していた。
B 彼がサントノールに入っている

くと「卯の花のおう浜辺に」と音楽が流れるんだ。「夏は来ぬ」だろう。(笑)

C 新顔では陶芸の市野茂良、洋画の初田壽。初田は地味だが後進の指導をよくしている。

A 映画「風の歌を聴け」を完成させた大森一樹もいい。伊藤ルミは結婚したがリサیتالはよかった。宮崎豊治もあげておこう。

B 文学の方ではSFファンの間で人気のあるかんむさし、日本詩人クラブ賞をうけた鈴木漠がよい仕事をしている。

C ポートピアで頑張ったという点ではビデオアートの福野輝郎。神戸大学の鈴木正幸、漫画家の丘あつしもよくあちこちで顔を見る

B 華道からもう一人吉田泰巳を入れよう。豪快な人柄とおりの飲みっぷりだ。

A ジャズの小曽根実もサンTVの司会で元氣だよ。染色の白石弘子は神戸と倉敷で個展を開いた。

C 植松奎二は昨年の暮れに帰ってきて個展をやったが、滞在が短かったから休場のままでいいね。

B 新井満が東京へ移って淋しくなった。斉藤智も海外へ出て活躍しているが飛躍を期待したいね。

★殊勲賞は増田正和に
B 三賞の選考に入ろう。ロブスターの榎忠を敢闘賞に推したいがどうだろう。

A ポートピアのテーマ館で話題をよんだ力作だし、若手の有望格で敢闘にふさわしいね。

C 殊勲賞は増田正和がいい。昨年は彼にとって当り年だった。

A 「暮しの中のユーモア」を出して神戸では初めて出版記念会を開いた織田正吉にも何か賞をあげたいね。

B 「空襲を記録する会」の活動も全国の会と連帯して「日本の空襲」を完成させ特筆すべきものがある。君本昌久は検査役にしよう

C 酒は飲まんそうだが、多田智満子の最近の仕事ぶりは技能賞に価すると思う。

A それで決定しよう。殊勲賞は増田正和、技能賞は多田智満子、敢闘賞は榎忠。フレッシユな人たちが前面に出てきてくれた。

★経済界はパールシティ神戸の重鎮、田崎俊作が返りさき

D それでは引き続いて経済人を経済界でもこの一年はポートピアで明け暮れた。その色が出る番付にしたいいね。

F 前回に横綱だった石野成明は残念ながら年齢オーバーだね。永年登場していただいたが今回から行司をとめてもらおう。

E すると田崎俊作の三年ぶりの返りさきが順当だね。芋焼酎で鍛えた飲みっぷりも豪快だし、真珠

業界のリーダーとしていよいよ賞禄も十分。

D ワールドの畑崎廣敏は業績もよし、ポートアイランドの本社も着工し昨年同様話題をさらっている。ぜひ張出横綱に。

E 張出横綱はもう一人、コンベンション都市にかける中内力をあげておきたい。肝臓を悪くして飲む方は一時ほどではないが。

F 同じくポートピアでの活躍組だが、単独でパビリオンを出展したUCCの上島達司を大関に昇格させたい。

G よく飲んでいるのは樽本久、寺本滉はやはりポートピアで業績を伸ばした。精動ぶりも相変らずのようで張出大関。

E 下村光治も会場に出店し風月堂ホールも益々充実させて頑張っていたから開脇。

D 飲むと強いのが島田文六。京都に新しくオーベックファンを作ったり活躍しているが地元でもっと取り組み回数をふやしてほしい

F YPOの会長として大役をこなしている野澤太一郎は張出開脇にもってこよう。

E 県倉庫協会の会長を勤める川西章二。KFAのまとめ役であるオールスタイルの川上勉、業績のあがっているキムラタンの木村豊を小結、張出小結に入れてみよう
D なかなか立派な上位陣がそろ

つたね。

★ よう飲んでよう儲けた

E 淡路フェリーの井植貞雄はすっかり社長業も板についた。夜のつきあいも評判がいい。前頭筆頭に昇進。ジャヴァの細川教夫、小林桂の小林博司も業績をあげた。
F 真珠の木下章夫は新社屋を完成させ、小売にも乗り出して意欲的だ。白川寛は自然食品のナチュラルハウスを拡張した。

D 賑やかな酒で唄もよう歌う片山開をこの辺に入れよう。カネボウベルエイシーの稲岡必三、ユーハイムコンフェクトの西正興も番附の常連だ。弁護士のア部清治、医者の中山祥三もよく飲んでい
F ケミカルシューズのリーダーとして輸出を伸ばしている河野忠博。新顔で最近三宮をめきめき荒

している眼科の村井正明は口こそ悪いが面倒見がいいという話だ。
E つるや衣裳店の島田光夫は病気で一時検査役に回っていたが、復調ぶりが著しい。本当はもう少し上へあげたいが体のためにこの位置くらいに復活。

F 宮田組の宮田喜夫は神戸ホームビルダー事業協同組合で塩屋に団地を作って活躍している。田村厚、J.C.の理事長を勤めた塚本哲夫も幕内に入れておかなくては
けない。

G J.C.の新理事長、西村隆治は

学究肌だが付き合いはよい。活躍を期待して十両筆頭へ。大工建設の西宮章泰はリンスギヤラリーなどを手がけた仕事光る。

F クラブのママでは小万の岩本起代子、るふらの浦野久子がはずせない。元気で頑張っている。
E 空港問題プロジェクトの責任者を勤めた伊丹威も今年J.C.を卒業だが、卒業グループの世話役をやっている。後藤修、三木重昭も

よく飲んでるね。三木は日本J.C.の専務理事をやって頑張っている。
G 北野クラブの浅木幸雄はJ.C.の新副理事長だ。南豊太郎は手広く新聞雑誌の販売を手がけている。
F 同じ北野で街づくりに貢献しているグループを代表して菊地吉弘をあげたい。

E ワシントンホテルに移転して店を新しくした榊晴夫、シンエーフーズで仕事を伸ばしている田中教仁も活躍した一人だね。

G みやこ真珠の小川博はJ.C.のシニアクラブの世話人をよくやっている。人柄がよいのか人望も厚い。石丸鐵太郎も空港問題プロジェクトの仕事を引きついで張り切っている。月岡倉庫の月岡清市、淡路屋の寺本勤も今回初登場してもらおう。

E 石野さん以外にも年齢制限で土俵をはずれる常連メンバーの、健闘を讃えておこなうは……。

★ ポートピアと神戸沖空港提言で殊勲賞上島達司敢闘賞塚本哲夫

G ポートピアで大いに活躍した人たちが上位陣をかためて、フレッシュな顔ぶれも入っている番附になったね。

E 自画自讃だが、こうして並べると猛者、技能派ぞろいで見事だ。審査員冥利に尽きる。

F 殊勲賞だが、今年特に目ざましい活躍をしたのは誰かな。

G ポートピアの年という意味で全国の大企業に伍してUCC館を出展した上島達司が殊勲賞にふさわしい。

F よく頑張ってくれた。上島に決定しよう。技能賞には誰かいるかな。

E 新社屋を建てて話題をよんだ木下章夫はどうだろう。

G うん、彼は歌も好きだし、昼も夜も精力的によく動いている。男っぽい良い男だね。

F 敢闘賞を空港誘致ののろしをあげて頑張った塚本哲夫にあげたい。J.C.が編集した「海から空へ」神戸と新国際空港」は説得力のある内容だった。

G それで決定だ。最後に検査役にそこうの山田恭一、行司に角南猛夫、取締役役経済同友会の代表幹事をつとめる榊木茂男を加えておこう。

(栄弥にて)



季節を超えたうまさ。

この一滴に、
ニッカの
総てをこめて。



●写真左より、キングスランド5000円、スーパーニッカ3200円、
フォーチュン'80 10000円。(いずれも標準小売価格です)

ニッカウヰスキー

附 番 徒 酒 户 神

[illegible]